**タイトル**

＊注意＊

印刷においてレイアウトの都合上フォント、文字サイズ等が変更されることがあります。

あらかじめご了承願います。

氏名・氏名・氏名

所属

【Key Words】

Key Words、Key Words、Key Words、Key Words、Key Words

**1. はじめに**

1.1 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

第3階層より下の見出し番号は書式自由

**2. 材料**

2.1 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

2.2 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**3. 方法**

3.1 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**4. 結果**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

表1.　　表や図は段組を解除しても良い

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**5. まとめ**

5.1

5.2

5.3

5.4

5.5

5.6

**6. 考察**

6.1

6.2

6.3

6.4

6.5

**【参考文献】**

1)

2)

3)

**実験病理組織技術研究会　投稿規定**

**（2021年6月改訂版）**

【投稿について】

**投稿資格**：

筆頭者、共著者は会員に限る。但し、当研究会が依頼した者は除く。

**論文の内容**：

実験病理組織技術に関するものとし、未発表のものとする。

**投稿の際の注意**：

下記の執筆要項に従うこと。

原稿１部と｢著者氏名一覧表 兼 動物倫理・利益相反報告書」は郵送、原稿の電子ファイル（本文、表、図、写真を含む）をCD又はメール等で「原稿の送付先」に送付する。

｢著者氏名一覧表　兼　動物倫理・利益相反報告書｣は、著者の氏名を共著者毎に自筆で記載する。

氏名以外は印刷でも可、用紙は本会誌からコピーもしくは研究会ホームページからダウンロードして使用する。

**投稿期限**：

投稿は随時受け付ける。5月31日（当日消印有効）までに投稿された原稿で会誌を発行する。

**採否の決定**：

査読を経て編集委員会が行なう。掲載順序、分類等は編集委員会が決定する。なお原稿は返却しない。

**掲載料金**：

投稿料および掲載料は無料とする。

カラー写真を掲載する場合は実費にて掲載する。

**別刷**：

別刷部数は50部を1単位とし、実費にて受け付ける。

**著作権**：

本誌に掲載された論文等の著作権は、実験病理組織技術研究会に、帰属する。転載には本研究会の許可が必要となる。

**動物実験倫理：**

動物実験を実施した場合、施設内関連委員会の承認を得ていることを論文中に明記する。

**利益相反について：**

著者は、データの解釈や結果に影響を受ける可能性のある金銭的利害関係について本研究会に報告する。

**執筆要項**

**1. ソフトウェア・用紙レイアウト**

Microsoft社のWordを使用する。

図表はWord・Excel・Power Pointで作成する。

図はJPEG形式が望ましいがTIFFやBMP形式あるいはPDFファイルでも良い。

画像のデジタルファイルは、EPS,JPEG,またはTIFFとして保存。

用紙はA4横書き、46行とし上下の余白は上下2.7cm、左右2.4cmを空ける。

**2. 句読点について**

読点はカンマ「，」ではなく「、」（全角読点）とする。

句点はピリオド｢．｣と区別するために「。」（全角句点）とする。

**3. タイトル部分の書き方**

3.1 タイトル

左寄せ、段組無し。

フォントはMS明朝、太字。サイズは1行～2行までは18ポイント、3行の場合16ポイント、4行以上14ポイント。

サブタイトルは、MS明朝、太字、14ポイント

3.2 氏名と所属

右寄せ、段組無し。

タイトルから1行あける（タイトル行のフォントサイズのまま改行する）。フォントはMS明朝10.5ポイント

3.3 Key word

氏名・所属から1行あけて**【Key words】**と記入し、改行後、最高5つまで記載する。左寄せ、段組無し、フォントはMSゴシック、10.5ポイント、外国語は原則として訳語またはカタカナで表記する。

**4. 本文の書き方**

Key wordから2行あけて、左寄せ、二段組、段の幅21字、間隔は1.73字。日本語フォントはMS明朝、10.5ポイント、括弧記号やカタカナは全角を用いる。英数字フォントはCenturyもしくはArialの半角を推奨、サイズは10.5ポイントを用いる。ただし略号等については全角文字を用いてもよい。

見出しの英数字・記号フォントはCenturyの10.5ポイント、日本語はMS明朝、10.5ポイントを使用する。

見出し番号と見出し文の間は、半角1文字分空ける（例　1. はじめに）

第１階層は**太字**とする。

**5. 本文の見出しは、下図に示す階層から構成する。**

|  |  |
| --- | --- |
| 第1階層：**1.**  | 左端揃え（第１階層には、「はじめに」、「材料」、「考察」などの見出しを記す） |
| 第2階層：1.1  | 左端揃え |

第3階層以降の取り決めは廃止する。

**6.** 顕微鏡写真には最終倍率（対物レンズ、アタッチメント、カメラレンズ等を乗じた倍率）を付すか、スケール挿入が望ましい。保存ファイルはグレースケールもしくはフルカラーRGBモード（8 ビット以上）で最小画像サイズが300dpiのフォーマットとして保存する。また、明るさやコントラストなど多少の画像処理は許容するが、その最終的な画像はオリジナルのデータを正確に反映していること。

**7.** 専門用語以外は常用漢字、現代かなづかいとする。

**8.** 度量衡単位はSI単位とするが、病理分野において一般的に用いられる単位はその限りでない。

**9.** 引用文献は本文中に肩付け番号を付し、引用順に整理し論文末尾に一括する。著者が2名以上の場合は“他、et al”とする。

**10.** 他の著作物文章や写真・図表の一部を使用する場合は、出所を明示し「引用」する。引用記載は｢｣でくくる等の方法を用いて、自らの文章とは明確に区別する。

**11.** Web siteからの引用は禁止する。どうしても必要であれば編集委員会に相談願います。

**12.** 自身の著作物であっても無断転載は禁止。転載は、必ず出版社や著作者の許可を得ること。

以上